

しべつ

議会だより

6月定例会

第151号

平成26年8月1日

行政報告…………… 2

町政のそこが聞きたい…… 4～8
(一般質問)

委員会報告…………… 9



～6月1日(日) 青天白日の下「川北小学校大運動会」～

チームワーク～本気・元気・挑戦～

標津町立川北小学校(児童数93名)

〈平成27年11月22日(日) 開校100周年記念式典・祝賀会〉



発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

久留米大学医学部・教育関連診療科として 内科につづき外科も認定

金澤瑛町長の行政報告

外科も教育関連診療科に

昨年12月の町議会で標津病院の内科について、久留米大学医学部内科学講座の星野友昭主任教授のご配慮により「教育関連診療科」として認定を報告したが、この度、外科についても外科学講座の、白水和雄主任教授のご配慮により「教育関連診療科」として認定された。認定期間は、平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間である。

外科学講座の主任教授に赤木教授が就任

久留米大学医学部外科学講座の白水和雄主任教授が、本年3月31日をもって定年退職さ



星野内科主任教授(中央)が来町

れ、4月1日から、准教授であった「赤木由人氏」が就任した。

この就任に先立ち、3月25日から27日に私と大野院長とで、白水主任教授へのこれまで

の医師派遣に対するお礼と、次期主任教授の赤木先生へのご挨拶並びに今後の本町への医師派遣のお願いをし、理解をいただいた。

星野教授が来町され、病棟回診や病院関係者と検討会

昨年7月、内科学講座・主任教授に就任された星野先生が歴代主任教授では初めて来町されたが、6月19日に、昨年10月の「教育関連診療科の認定」による認定病院の現状視察や、派遣医師との懇談のため再び来町される。この来町の際には、標津病院の入院患者への病棟回診や医師や看護師との検討会が予定されており、標津町及び標津病院にとって画期的であり、光栄なことである。

(5月15日臨時会)

同意案件

人権擁護委員 佐藤 強

標津町字川北
南1線西1番地6

任期
法務大臣の委嘱の日から
3年間

意見書

○義務教育費国庫負担制度
堅持・負担率1/2への
復元、「30人以下学級」
の実現をめざす教職員定
数改善、就学保障充実な
ど2015年度国家予算編
成における教育予算確
保・拡充に向けた意見書

提出者

大垣 勇 議員

○地方財政の充実・強化
を求める意見書

提出者

大垣 勇 議員

○「手話言語法(仮称)」制
定を求める意見書

提出者

文教福祉建設常任委員長

石橋 昌幸

○規制改革会議意見書の
取扱いに関する意見書

提出者

議会運営委員長

藤巻 国治

一般会計の補正予算

主なもの

(単位:千円)

| 項目 | 金額 | 内容 |
|------------------------------|--------|---|
| 社会保障・税番号制度シ ステム整備事業 | 4,603 | 住基システム及び総合宛名シ ステムは全額国庫補助、地方 税システムは2/3国庫補助 |
| 日本で最も美しい村連合 活動経費 | 576 | 平成27年度美瑛町での「世 界大会」の戦略・準備経費 |
| 障がい者就労支援施設設 備整備費助成事業 | 360 | キラリ工房の車両購入費の 自己負担分の1/2を助成 |
| 病院会計繰出金 | 17,968 | 病院のスプリンクラー整備 費の補助残 |
| 海岸漂着物地域対策推進 事業 | 9,090 | 海岸漂着流木の処理費用 (全額道補助) |
| しべつ「海の公園」オート キャンプ場污水管補修事業 | 723 | 破損した污水管の修繕 |
| 児童向けふれあい図書 コーナー設置事業 | 300 | 3月に寄付を受けた絵本 コーナー設置 |
| 学校給食センター機器補 修事業 | 756 | 残菜処理粉碎機の故障によ る部品の交換 |

金山地域休養施設等特別会計補正

金山スキー場管理棟屋根張替え工事 1,070 (公有建物共済保険料を充当)

議決を求める案件

●標津町過疎地域自立促進市町村 計画の変更

白樺斎場建設事業外1件の追加

●辺地に係る公共的施設の総合整 備計画の変更

スクールバス購入事業外3件の
追加

など

議会推薦の 農業委員会 委員を決定

渡部 英徳

生年月日

昭和51年4月26日

住所

標津町字川北2449番地

一般質問

町政のそこが聞きたい

平成26年第2回定例会(6月11日)で4議員が一般質問をしました。
各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

稗 貫 隆 樹 議員 ————— 5ページ

- 標津町の児童生徒の学力向上を図る取り組みについて
- 標津町における社会教育・社会体育の果たす役割について

小 川 悠 治 議員 ————— 6ページ

- 標津川堤内公園の管理について

石 橋 昌 幸 議員 ————— 7ページ

- 孤立生活者と孤立死を考える件について
- 標津に住みつづけられる環境作りが必要な件について

吉 田 智 議員 ————— 8ページ

- NIE教育に新聞を「生かせ新聞の有効性を」

～標津町議会定例会の様子～



学力向上にむけた 取り組みや課題は

「標準型学習スタイル」で 生きる力の向上を

問 「学力向上」について「見える学校」「見える実践」という

視点から、本町児童生徒の学力の現状、レベルについてどうとらえているか、また「学力向上」に向けたこれまでの取り組みの具体的内容、現場への指導や現状と越えなければならぬハードル・課題及び今後の対策は。

秋田県は全国学力テストにおいて常に上位に位置している。本町



稗貫 隆樹 議員

の先生が秋田県の教育現場を視察し研修しているが、本町教育への

フィードバック、具体的な実践、現時点での成果や今後の課題は。

答 **教育長** 学力のとらえ方で見える学力と見えない学力がある。見える学力は計画に基づいて、ある程度評価できる学力であり、見えない学力とは個々の人格形成に大きく影響していくもの。幼児期から成人になり、子供を育てていく「人生サイクル」の中で「ふるさと」と言うのは人格形成の上の役割を果たしている。

親の願いは元氣よ

く、誰とでも仲良く、勉強もできて将来役に立つ子供になってほしいと思っている。それが「生きる力」である。

当町ではそのことを柱に教育行政を進めている。

標準町では独自に小学校2年生から中学校3年生までの学力調査をし、個々の児童生徒の到達度や全国レベルとの比較をしながら、きめ細やかな教科指導に生かしている。具体的には『標準型学習ス



ICPを活用した授業風景

スタイル』すなわち①「いつまでもわからぬ」ことがないように②生活面でもしっかり指導③保育園から高校まで集まって研究や研修して交流している。

先進地秋田県とは、できるだけ多くの先生を派遣し、交流をしている。今年も2名の先生を迎えて町内の教員の学んでいく場を提供していく。

社会教育、社会体育の 現状や助成の内容は

可能なサポートは実施していく

問 標準町の社会教育や社会体育の実態と町としてのサポート助成の内容は、標準町次世代育成支援行動計画の最終年を迎え、町として今後の望ましい、あるいは可能な支援体制は。

答 **教育長** 社会教育・体育の活性化は事業をこなすだけではなく、子供から高齢者まで、参加していけるの

かが大きな課題であり「生きがい」作りだ。文化サークルの登録は315名だが文化祭の参加状況から実際にはもっと多いと考えられる。スポーツ少年団224名、体育協会の登録は628名だが少年団は減少している。少子化が影響している。いずれにしても必要なサポートはしていく。

**標津川堤内公園、
記念植樹の桜がほぼ全滅**

**町政50周年記念植樹他、
鹿の食害や雪害か**



小川 悠治 議員

問 平成7年に標津川堤防に桜つつみが造られ、続いて平成12年堤防内の公園整備後、平成20年から堤内公園に町制施行50周年記念など各種記念植樹がされてきたが、公園北側に植樹された桜苗木がほぼ全滅でむごたらしい情景である。

答 東京標津会30周年記念、役場OB会、関東地方の高校3校の修学旅行記念、中標津建築士会などが桜苗木



平成20年 町制施行50周年記念植樹箇所

230本を植えたがほぼ全滅に近い。原因としては、気象条件の他、鹿の食害や雪害が予想される。成木を持ってくれば鹿の食害も少ないと考えられるが相当の金額がかかる。

**修学旅行記念植樹、
看板だけがむなしく**

心を痛める、対応したい

問 各団体が思いを込めた植樹の中に、不登校など苦難を乗り越えて学んでいる関東の3高校の修学旅行記念植樹もあり、ほぼ全滅で、記念看板だけがむなしく残っている。いつの日か標津を訪ねた時どれほど傷がつくかと思うと心が痛む。植樹者の心に傷がつかない対応を願いたい。



修学旅行記念植樹箇所

答 植えた木が跡形もなくなつたと聞くと心を痛める。反省し、前向きに桜つつみ回復事業を位置づけて検討したい。

**堤内公園は草原散策路として
素晴らしい景観**

**当初と水辺環境がかなり違っている
ので対応を検討したい**

問 当初、堤防に成木植栽された桜（現在推定550本）は、今年も見事に咲いている。堤内公園は景観もすばらしく、桜苗木が難しければサーモンパークと連動する草原の散策路として町民の健康と憩いの場所ともなる



堤内公園

答 桜つつみ散策コースの全体的維持管理については、堤内公園の水辺の環境が整備当初とかなり違っている。財政事情もあり当面の措置を維持する中で散策や景観の維持に努めたい。

孤立生活者と孤立死を考える

支援ネットワーク作り

見直し必要

問 外の人と話もしない。電話がかかってこない。又はかけない。このように心配してもらえない生活を送っているような方はこの標津に少なからず居る。最悪、孤立死へとならないため、行政と町内会で見守って行かなければならない。独居老人・老夫婦・母子世帯・身体障がい者世帯・知的障がい者世帯・介護認定されていない方など、つまりサービ



石橋 昌幸 議員

ス利用していない方。町の地域包括支援センターに相談されない方などが貧困も重なり一部自己負担のある介護サービスを利用していない。これらが地域とのつながりをなくし孤立化をより進める。この先、認知症や要介護の人、一人暮らしの人も増加してくる。地域で人と人が日常に支え合う関係が大切。町内会、民生委員、新ふるさとづくり協働推進職員、カウモン号などの見守りが必要。

答 平成24年からこの3年間の間に孤立死がこの標津町で四件起きている。全員が男性の

方で数日がたつて誰にも発見されずにいた。このような事をどう無くすか、町として政策を講じている。まず消防署に直接つながる緊急通報システムの貸付、標津福祉会の委託事業で食事の配食サービス（有料）、社会福祉協議会のサロン活動、町内会と地域福祉ネットワーク作り、福祉協力員の見回り、地

域包括員の家庭訪問、民生委員の協力などである。しかし、生活支援ネットワークが整っていると言えれば決してそうではない。プライバシーなどの壁を考慮し、孤立生活者を見守っていく。そして産業作りが雇用を生み、介護流出、通院流出、人口流出などにも影響する。それをふまえて取り掛っていく。

標津に住みつづけられる環境づくりが必要

地域で支え合う体制が必要だと考えている

問 国が推し進めた政策で円安となり、物価が跳ね上がった。そしてこの時期に消費税が増税となり、低所得者・子育て世帯・国民年金生活者には大きな負担となっている。標津町

の消費税の対応としては原則的に3%を転嫁する。高齢者の医療費窓口負担は段階的引き上げ、医療機関の初診料が値上する。国民年金の引き上げ、受給額は減額となる。受給

者は厚生年金の格差を切実に感じているが、この地の行政を頼りに生活している。

答 年金生活者の方々に始めとして、国民生活の安定に資する強力な対策を国に求める。また地方自治体の責務として住民生活の安全安心を願う国の対策の推進とともに年金生活者・生活困窮者に対する生活支援として、各種負担の減免、軽減制度や公的補助、諸々の助成制度や寄付補助等々の町の制度を的確な数値を計るとともに本来に困っている人が気楽に相談できる体制の整備が必要。経済的な生活困窮という事ではなく、弱者の方々が地域で支え合う体制が必要だと考える。町内会、社会福祉関係機関、団体等と連携を密にし、対処していく。

参考資料 1

平成25年度 全国学力・学習状況調査
小学校第6学年 算数B

4

平成23年(2011年)に行われたサッカー女子ワールドカップで、サッカー日本女子代表のなでしこジャパンが優勝しました。

ひろきさんは、ワールドカップ後のなでしこリーグ(日本女子サッカーリーグ)の試合の観客数が増えたのではないかと考えました。

そこで、あるサッカー場で行われた、平成23年のなでしこリーグの試合の観客数を調べ、下の表にまとめた。



あるサッカー場の試合数と観客数

| | 試合数(試合) | 観客数の合計(人) | 1試合あたりの観客数(人) |
|----------|---------|-----------|---------------|
| ワールドカップ前 | 2 | 約 2200 | 約 1100 |
| ワールドカップ後 | 3 | 約 33000 | 約 11000 |

ワールドカップ後の1試合あたりの観客数は、ワールドカップ前の1試合あたりの観客数の約何倍になっていますか。求め方を式や言葉を使って書きましよう。また、答えも書きましよう。

解答例

《求め方》 ワールドカップ後の1試合あたりの観客数を求めるために、観客数を試合数で割ると $33000 \div 3 = 11000$ で、約11000人となる。次に、約何倍になっているかを求めるために、ワールドカップ後の1試合あたりの観客数をワールドカップ前の1試合あたりの観客数で割ると $11000 \div 1100 = 10$ で、約10倍となる。

《答え》 (約) 10 (倍)

正当率(%): 全国43.1 北海道35.7



吉田 智 議員

参考資料2

全国学力テスト小学校国語Aにおける北海道のワースト5(2007~12年)は、下線部を漢字で書く問題

| | 北海道の正答率(%) | 全国との差 | 実施年 |
|-----------|------------|-------|------|
| いしゃにみてもらう | 66.9 | -16.2 | 2012 |
| おうふくする | 51.9 | -12.5 | 2008 |
| さんせいする | 67.6 | -10.7 | 2009 |
| びょういんに行く | 66.2 | -9.9 | 2009 |
| 魚をやく | 61.0 | -9.7 | 2007 |

参考資料3

このワークシートは北海道新聞記事データベースを利用して作成しています

道新ワークシート

新しい芝を次々と敷き詰めていく網走地方学生運動場
四回生の職員も2日

①記事に「14、15年度には全面張り替えたい」という市教委の担当者の話が見られますが、その理由を挙げて答えなさい。

解答例
芝は張り替え後4~5年で最も状態が良くなるため、日本でラグビーW杯が開かれる2019年から逆算すると、14、15年度に張り替えるのが最良であると考えたから。

②第3段落目「新しい芝を丁寧に敷き詰めていった」という表現から読み取れる、筆者の考えを書きなさい。

解答例
「丁寧に」という言葉から、筆者は芝の敷き詰め方が良かったと考えていることがわかる。

設問の狙い
●文章を読んで、内容を正確に理解するとともに、表現の仕方から筆者の意図を考えることができる。

問 全国学力・学習状況調査において、北海道の学力危機が指摘されて久しい。語彙力不足から、参考資料1の様な算数の文章題の意味がわからない。答えはわかっても解答例の様な記述ができない。又参考資料2の如く、簡単な漢字を書く力も不足している。語彙力のないままの学力向上はないのである。そこで、道新が毎月末最終月曜日に教育

欄にて特集を組んでいる※NIE・教育に新聞をを取り入れて参考資料3のワークシート等を利用し、語彙の宝庫である新聞の有効性を生かし活字に馴染む所から始めては如何か?(学校ICT化の先進地の当町において、タブレット端末を利用し、電子新聞・電子書籍を活用し、活字離れを解消して行く事も一案である)

答 教育長 活字に馴染むことが、学力向上に繋がる。活字離れを解消する為に、後れ馳ながら、26年度より、新聞を各学校の廊下等に配置し、子供達が自由に閲覧できる様にした。

又、授業にも取り入れ、大きなタイムスパンで、言語活動の充実を図って行く。

言語活動の充実を図って行く



7月4日～5日に北海道町村議会議員研修会に参加して貴重な研修の機会を得た。

総務経済常任委員会

所管事務調査報告

北海道町村議会議員研修会(7月4～5日)

調査項目

講演

法政大学法学部教授 廣瀬 克哉 氏

読売新聞特別編集委員 橋本 五郎 氏

札幌市白石区の札幌コンベンションセンターで開催された研修会は、最初に『議会改革のこれから』と題して、法政大学法学部教授 廣瀬克哉氏の講演で始まった。①自己決定&自己責任②議会改革の広がり③議会が住民に見えていない④議会基本条例の存在意義⑤住民の期待とは等々と続いた。

大きな問題として、議会の使命(ミッション)のイメージが社会で共有されていないことにあると指摘し、議会改革の第2のステップとして、どのようにして「機関意思」を固めていくのかが重要であり、「全会派一致」での議会の機関決定」を戦略としてたてることが大切と結んだ。

次に読売新聞特別編集委員 橋本五郎氏の講演が続いた。『これからの日本の政治』をテーマに約一時間半、例の軽妙な口調で、参加している研修者を十分に楽しませるものであった。

現在の政治の情勢、そして過去の政治の動きを材料に、何事も国を動かし、社会を動かす時には、周到な準備とより丁寧なプロセス、そしてやる時には断固実行するという強い意志が必要であると強調されていた。

「地方の再生」、「高齢者の資源の活用」も大きなテーマとしてとらえ、最後は自身の母親の半生を振り返りながら、今日的な課題につなげてみる等、流石に聞いている者を引きつける講演であった。

文教福祉建設常任委員会

所管事務調査報告

町内行政視察(4月17日)

調査項目

教育施設の衛生環境に関して



川北小学校



標津中学校

改修される。標津小学校は平成27年に改修予定となっている。

寄稿

大切な「あなたとわたし」

標津郵便局長 山口 靖浩

四年前の、平成二二年九月に行われた「第五十回北海道社会教育研究大会」の記念講演を聞くことができました。詩人である「金子みすゞ」

きれいな音は出ないけど、あの鳴る鈴は私のようにたくさんな唄は知らないよ。鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。

矢崎さんはこの詩で大切なのは、「みんなちがって、みんないい」の一行前は、「鈴と、小鳥と、それから私」となっているが、この詩のタイトルは「私と…」から始まり最後は「鈴と…」で位置がひっくり返っている。

つまり「わたしとあなた」が「あなたとわたし」にかわる。わたしという人間は、この世の中で一番大切な存在であるけれども、私

金子さんの作品で、「私と小鳥と鈴と」という詩ですが、

日常の生活の中で、私たちは無意識に「わたしとあなた」になっ

私が両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、飛べる小鳥は私のように、地面を速くは走れない。私が体をゆすっても、

偉そうなことは言えませんが、私もこの生かされている命を大切に、そして楽しい人生を送っていききたいと思

漁」という詩があります。朝焼小焼だ、大漁だ、大羽鰻の、大漁だ。浜は祭りのようだけど海のなかでは何万の鰻のとむらいするだろう。



金子みすゞ (かねこみすず) (童謡詩人) 1903~1930年

金子みすゞさんの「まなざし」で見ると「わたしと鰻」が「鰻とわたし」になり、私たちは生きていくのではなく、あらゆる命によって生かされているということになるのだと思います。

また、別の作品に「大

編集室



私達4人が広報特別委員に就き「標津議会だより」発行に携わって3年間経過し、残り2回を残すだけになった。

この間、「読んでいただけ」の「議会だより」を指し、努力してきたつもりですが、まだまだ反省点が多いと思っている。

さて、「秘密保護法」に続いて「集団的自衛権」戦争のできる国に帰帰を心配するのは私だけではないのでは。

(大垣 勇)

議長 田中 孝幸

広報特別委員会

委員長 大垣 勇

副委員長 南 憲治

委員 石橋 昌幸

委員 吉田 智